



## 「自分だけの正解」

昨日のテレビ朝会では、読書について山中の皆さんに話をしました。本校生だけではなく読書をしない学生の割合が増えていることが危惧されています。

今の時代は、インターネットで検索すれば知りたい内容をすぐに手に入れることができますが、本からでしか得られないものがあります。手軽にインターネットから情報を得ることはできますが、必ずしもその情報が正しいとは限りません。インターネットで知ることができる情報より、良質の情報が本から得られます。

また、インターネットで調べることと、書籍をもって調べることの差とは何なのでしょう。それは、「一応の正解」を見つけてくることと、「自分だけの正解」を見出すこととの差です。これからの情報社会を生きていくうえで、「自分だけの正解」を見出すスキルが必須である、とされています。どうか読書を通して、自分自身の頭で考えながら正解を見出す習慣を身につけてほしいと願います。

読書にはさまざまな効果があると言われています。以下に紹介する読書のメリットを知ること、少しでも本を読み始めるきっかけになれば幸いです。

### ①会話力や文章力の向上

読書によって文章を書く力が向上します。文章を読んでいくうちに、上手な言い回しや自分が使わないような表現に触れることで文章能力が上がります。また、文章能力が上がっていくのと同時に言葉の表現が豊かになるため、他者との会話で自分が伝えたい内容をしっかり伝えることが可能になります。

### ②語彙(ボキャブラリー)が増える

読書をしていると知らない漢字や言葉が出てきます。分からない単語を調べることで知識が身につくと同時に語彙が増えていきます。普段使っている「話し言葉」とは異なる難しい言葉や1つの単語に触れることで、表現豊かな日本語の学習にもなります。

※語彙＝ある言語、ある地域・分野、ある人、ある作品など、それぞれで使われる単語の総体。「一の豊富な人」

### ③教養や知識が身につく

読書をすることで、知らなかった知識や教養を身につけることができます。自分の知りたいことだけでなくそれに関連した知識が増え、さらに興味が広がっていきます。

### ④想像力が豊かになる

文章を読んでいるときは、場面の情景や背景、登場人物の感情や思考など、想像力を働かせながら理解したり、共感したりしています。

### ⑤アイデアが得られる

自分なら思いつかないアイデアや想像の世界が本の中には詰まっています。読書は、自分の価値観や視野を広げるのに役立つ身近な方法です。今はこの世に存在していない偉人の考え方や言葉に触れることができます。その人が発した言葉や思想などは本の中で生きています。

### ⑥色々な話題を話せる

読書を通して得た多様な知識は、他者との会話のなかで、話題の1つとして取りあげながら話の内容を深めることができます。

### ⑦ストレス解消

読書にはストレスを軽減し「リラックスしやすい状態」を作れる効果があります。

さらにICT技術が進歩し、生成AIが登場しました。今まさに機械が膨大なデータを瞬時に処理して文章を作ってくれる時代に突入しています。読書とは「書物を読むこと」ことです。しかし、「読んで書く」ともとれます。文章を読んで読解力や感性を高め、自分の頭で考えた自分だけの文章が書けるようになってほしい、と切に願います。

12月11日から15日は、図書室の特別貸出期間です。冬休みは、ひとり4冊まで借りることができます。是非この冬休みは本を借りて、読書を楽しんでください。